第48回衆議院議員選挙への ＪＲ西労組の対応方針について

第４８回衆議院議員選挙が１０月１０日公示、２２日投開票で施行される。

ＪＲ西労組は、１０月４日に全専従者会議を開催し、今回の選挙に対しては、運動方針にある「ＪＲ西労組の政治方針」に基づき、組織内において混乱を生じさせないことを最優先し、組織の団結とＪＲ西労組の発展を第一義に置いて取り組むことを決定した。

また、今回は従来の政党の枠組みが大きく変化する中での短期の選挙戦となることから、以下の点にとくに留意して取り組む方針を決定した。

1. 政局の動向とは距離を置き、連合、ＪＲ連合の方針を踏まえたうえで、「ＪＲ西労組の政治方針」に基づき組織と組合員の利益を最優先し、主体性を持って判断して対応する。

2. 組合員にわかりやすい方針を示して理解を広げ、組合員と家族の投票行動を徹底するよう取り組む。とくに、若手組合員の参加、期日前投票の慫慂を強化する。

さらに、候補者の推薦と支援については、ＪＲ連合国会議員懇談会の所属議員をはじめ、候補者との信頼関係を重視し、以下の「候補者推薦の考え方」に基づき、各地方本部、総支部と連携して判断することとする。

候補者推薦の考え方

1. 組織の混乱を生じさせないこと、組織と組合員の利益に合致すること、組合員が理解できることを前提に、連合、ＪＲ連合方針を踏まえ、「ＪＲ西労組の政治方針」に基づき候補者の推薦を決定する。自民党、共産党、および、労働組合を否定する「日本維新の会」は支援しない。

2. 候補者の支援については、ＪＲ連合国会議員懇談会所属候補者（前職、元職）、「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」所属候補者、それ以外で地本が推薦する候補者の優先順位を基本とし、それぞれの事情を考慮して判断する。

3. 比例区の投票先は、1項、2項を踏まえ、推薦候補者の当選に資することを考慮して判断する。

4. 推薦する候補者が不在となる小選挙区においても、必ず選挙に参加し、比例区での投票を行うよう呼び掛ける。

第1回 政策・調査委員会

ＪＲ西労組が抱える政策課題について、真摯に討議を行う！

自治体訪問の重要性を改めて共有

９月21日（木）、本部８階会議室において、第１回政策・調査委員会が開催され、各地本・総支部と中央本部を含めて、30名が出席した。

宮野政策・調査部長より、これまでの経過として、ＪＲ西労組を取り巻く政策課題に対する取り組みについて、報告があった。

２０１７年度の取り組み方針としては、引き続き沿線自治体との懇談活動を継続実施することや、地方において企画提案運動を推進していくことが提起された。

また、北陸新幹線敦賀～大阪間の建設については、早期着工に向けた財源の確保のほか、小浜線の活性化に向けた沿線自治体との懇談など、ＪＲ連合と連携して行っていく方針が確認された。

また、三江線をはじめとする地方ローカル線の課題についても、ＪＲ連合「鉄道特性活性化ＰＴ」最終答申などを活用し、地方議員団訪問などを通して地域と一体となって持続可能な公共交通のあり方について考えていくことが必要である課題についての報告が行われた。

中央本部は、引き続き政策課題の解決に向け、各地本・総支部と連携しながら、自治体訪問をはじめとする取り組みを強力にすすめていく。

第1回 組織対策会議

組織課題について集中的に討議

組織課題について集中的に討議

中央本部は、９月21日、中央本部会議室において、第１回組織対策会議を開催。各地本・総支部の代表者と中央本部を含めて30名が集まり、組織課題について熱い議論を展開した。

議事では、白壁組織部長から他労組の情勢について報告があり、組織の拡大・充実・強化の取り組み方針が確認された。

特に喫緊の課題として、シニア・シニアリーダー組合員の継続加入や、ＪＮＲ役員からＪＲ役員への技術継承に加え、女性組合員の活動への参画と女性役員の育成についても取り組み目標の共有化がなされた。

また、職場でなくならないパワーハラスメントの撲滅に向けて、総合労働協約改訂交渉においても、最重要課題として罰則の対象とするよう議論をしてきたことが報告され、今後、就業規則の改正も視野に入れた取り組みを強化する方針が確認された。

さらに、ＪＲ西労組として、全てのハラスメントを許さず、全ての組合員が活き活きと働くことのできる環境を目指すポスターを作成することが確認された。

投票に行こう！

10月22日は衆議院選挙の投票日です。

今回の選挙から選挙権が18歳以上に広がり、全ての組合員が投票できます。私達の声を国会に届けるためには、一人ひとりの投票行動が重要です。棄権することなく、必ず投票に行きましょう！

引き続き私たちの声を地方政治の場に！

地域に根ざした鉄道・バス事業を担う私たちにとって、地方政治は非常に重要な役割を担っている。私達の立場を代弁するＪＲ西労組議員団会議18名のうち、2名がこの度改選を迎え、見事当選を果たした。関係地本の皆様に、改めて御礼申し上げる。

小西義己氏 3期目当選！

定数22議席のところ23名が立候補した総社市議会選挙は、9月24日（日）投開票が行われ、ＪＲ西労組議員団会議副議長、小西義己氏（現）が、見事3期目の当選を果たした。

9月17日（日）告示日以降、岡山地方本部を中心に、必勝に向けて懸命の努力を行い、小西氏も2期8年の実績を振り返り、子育て、福祉、災害復旧や防災対策など地域と連携した地域公共交通を創りあげるべく訴えた結果の当選であった。

当選：小西義己氏（現）1324票

大伴まさのり氏は 5期目！

定数24議席のところ29名が立候補した長岡京市議会選挙は、10月1日（日）投開票が行われ、ＪＲ西労組議員団会議の重要な仲間である大伴まさのり氏（現）が、見事5期目の当選を果たした。

9月24日（日）の告示以降、政局が混迷しているなか、ＪＲ西労組京都地本の組合員を中心として懸命に選挙戦を戦い、大伴氏も福祉でのまちづくりを柱に、地域と連携した公共交通の創出を訴え、粘り強く戦った成果であった。

大伴議員の勝利のため、尽力していただいた京都地本各級機関役員及び組合員の皆様に、心より敬意を表する！

当選：大伴まさのり（現）955票

25周年にあたる今年 さらなる継承を！

第9回 結成25周年委員会

次代への継承を再共有した25周年委員会

9月20日、中央本部地下会議室において、第9回目となる「ＪＲ西労組結成25周年委員会」が開催された。

各地本・総支部において新体制となり、新たに選出された25周年委員会のメンバー総勢40名が一堂に集まった。

結成25周年記念誌の作成や、各地本・総支部の機関紙縮刷版など、これまでの運動を振り返り、次代に継承する取り組みについて、共有がなされた。

本年12月6日までの間、さらなる継承に向けて力強く運動を進めていく。

献身的な取り組みをされた岡山地本各級機関役員、及び組合員の皆様に心より敬意を表する！